

修士論文要旨

金 枝

2011M20002

本論文は中国の中小企業問題を中小企業の資金調達問題を中心に検討し、中国中小企業の特徴と抱える問題を明らかにすることを課題としている。その概要は以下のごとくである。

中国の中小企業は改革開放政策の過程で生成、発展した。その出自は大きく言って、三つに分かれる。一つは郷鎮企業としての出自を持つものである。二つは国有企業の民営化によって生まれた企業であった。三つ目は市場経済化以後、当初から民営企業として発展してきた企業である。

郷鎮企業は人民公社に属していた農業関連企業が独立して成立したものであり、絶対的な物不足の中で、急速に発展した。その発展過程で、中国の経済発展を牽引する郷鎮企業の集積地も出現した。その代表が蘇南モデルと言われる蘇州、常州、無錫の郊外に発展した郷鎮企業群であり、温州モデルと言われる江蘇省の温州で発展した企業群であり、珠江モデルの珠江デルタ地域の企業群である。

郷鎮企業の所有形態は様々であり、当初は公有制が多かったが、次第に私営企業が郷鎮企業を中心になっていった。

中小企業のもう一つの出自は国有企業である。著しく非効率であった国有企業は改革開放政策の進展とともに、その多くが赤字に陥り、抜本的な改革を余儀なくされた。政府は大企業のみを国有企業として維持し、中小企業は民営化することとした。その結果、220万社に及ぶ国有企業の8割が民営化されることとなった。

中小企業の急速な発展とともに、政府は中小企業政策を担う中小企業司を設置する一方で、中小企業促進法を制定した。同法の目的は、第一には、中小企業の成長を促進することによって、国有企業改革でリストラされた膨大な労働者や農村の過剰人口を中小企業に吸収させることであり、第二には、合法化されたあとも随所に残っていた民間企業に対する排除や差別的取り扱いを禁じて、中小企業の合法的権利を保護することであった。

中国の中小企業は企業数で99.8%、従業員数で81.9%、国内総生産で55.6%を占め、中国の工業化、雇用吸収、輸出、地域経済の発展に大きな役割を担ってきた。とりわけ、東部の地域の江蘇省や浙江省、広東省、上海市などで発展した。

本論文では中小企業が地域経済の発展にどのような役割を果たしたかを東莞市を事例に検討した。それによれば、東莞の急速な経済発展は台湾や香港を中心とする外資系の中小企業と膨大な零細企業によって支えられていたのであり、中小企業群は地域工業化と雇用吸収に大きな役割を担い、さらには中国に膨大な貿易黒字をもたらした輸出の担い手としての役割を果たしてきた。

しかし、世界金融危機以降、中国の中小企業は連鎖倒産の危機にさらされており、その

経営は急速に悪化している。その要因は欧米諸国の景気の悪化を別とすれば、以下の2点を指摘できる。一つは、労働集約的な部門における中国中小企業の国際競争力の低下である。中国では急速な賃金上昇によって、ベトナムやインドネシアなどに比べ賃金水準は著しく高くなり、賃金コストの上昇とともにアメリカ市場において、家具などでシェアを落とし、衣料品ではシェアを維持するためにコスト増にも関わらず単価を切り下げている。

もう一つは、中小企業の信用不足や金融収縮などに基づく資金調達難である。

中国中小企業の資金調達難の要因として、金融制度の問題と中小企業その自体の問題を挙げることができる。前者について言えば、中国の金融機関は国有商業銀行と政策銀行（国家開発銀行、中国農業発展銀行、中国輸出入銀行）、および株式制商業銀行（中国交通銀行、光大銀行など）と各地方の都市商業銀行、農村信用社、そして信託投資公司、郵便貯蓄局などから構成されている。これらの中で、国有商業銀行が融資において圧倒的な比率を占めている。国有商業銀行は国有企業の資金供給機関として機能しており、政府から効率的資金運用と健全性を強く求められているため、情報の非対称性の大きい中小企業金融は回避せざるを得ない。一方で、特定の地域を営業エリアとし、中小企業金融を担うと期待される都市商業銀行の融資高は微々たるものにすぎない。

結局、中国においては中小企業を対象とする金融機関が十分に整備されていないことが大きな問題であり、中小企業金融問題を解決するためには、基本的には中小企業金融を主たる取引対象とする金融機関を拡充することが何よりも重要ではないかと考える。

企業の側の問題として挙げられるのは、平均3年弱で退出するという中国中小企業の不安定性と情報開示の不十分性である。ただ、これらの点も、信用保証制度や情報開示制度などの制度的な整備によって改善されうるはずであり、中小企業自身の問題というよりは制度的な問題が大きい。

結局のところ、中小企業金融難の解決には、信用保証制度や情報開示制度など制度的整備を図るとともに、地域の企業への資金供給を担うリレーショナルバンキングを創出、育成すべきであるということになるであろう。